

我が国におけるアンメットメディカルニーズに関する調査

令和2-3年度 AMED臨床研究・治験推進研究事業「治験・臨床試験を機動的かつ円滑に実施するためのサポート機能に関する研究」(研究開発代表者:猪口雄二(公益社団法人 日本医師会 副会長))の研究班において、日本のアンメットメディカルニーズを把握する課題研究を実施しています。

令和2年度に、「いまだ有効な治療方法が確立されていない、あるいは既存治療では十分でない疾病に対する医療への要望」をアンメットメディカルニーズと定義して、日本内科学会の評議員の方を調査対象として試行的調査を実施させていただきました。調査結果概要は[こちら](#)。

令和3年度は、日本医学会分科会の臨床部会に調査対象を広げて、これまで実施されていない疾患領域で横断的に網羅性の高いアンメットメディカルニーズ調査を実施させていただきたいと思います。

本調査を実施することにより以下に繋がることが期待されます。

- ・必要な医薬品開発の機会を見出し、十分な治療薬がない患者に有効な医薬品開発の推進
- ・研究助成を研究者が受けられるような制度の必要性についての提言
- ・指定難病に向けた提言

日々、業務多忙の折大変恐縮ではございますが、何卒、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

●回答における注意点

- ・昨年度、日本内科学会として調査回答済の場合は、設問1で「回答済み」を選択してください。
- ・所属学会は複数選択可能ですが、診療科(専門領域)は単一選択としてください。
- ・オンラインでの回答は10分程度です。回答の途中で保存はできません。
- ・ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。戻る場合は、アンケート入力画面下部にある「戻る」ボタンを使用してください。

(または、最後の確認画面から各画面に戻ることも可能です)

- ・調査内容のお問い合わせについてご了承いただける方、又は、調査結果をご希望される方は回答者情報(任意)の入力をお願いいたします。

●調査対象者

日本医学会分科会の臨床部会の評議員、代議員など

●回答期限

2021年9月30日(木)

●調査問い合わせ先

研究事務局

日本医師会 治験促進センター

担当者:アンメットメディカルニーズ調査担当

E-Mail:rinri@jmacct.med.or.jp

我が国におけるアンメットメディカルニーズに関する調査

●調査問い合わせ先

研究事務局

日本医師会 治験促進センター

担当者: アンメットメディカルニーズ調査担当

E-Mail: rinri@jmacct.med.or.jp

* は、必須項目です。

所属学会（複数選択可）（臨床部会を五十音順に、日本医学会Webサイトの分科会一覧に倣い掲載）

[あ](#) [か](#) [さ](#) [た](#) [な](#) [は](#) [ま](#) [や](#) [ら](#) *

あ [設問Topへ](#) [次の設問へ](#)

- ☐ No.132 日本アフェシス学会
- ☐ No.42 日本アレルギー学会
- ☐ No.32 日本医学放射線学会
- ☐ No.120 日本胃癌学会
- ☐ No.79 日本移植学会
- ☐ No.135 日本インターベンショナルラジオロジー学会
- ☐ No.15 日本温泉気候物理医学会

か [設問Topへ](#) [次の設問へ](#)

- ☐ No.43 日本化学療法学会
- ☐ No.72 日本核医学会
- ☐ No.27 日本眼科学会
- ☐ No.19 日本感染症学会
- ☐ No.62 日本肝臓学会
- ☐ No.78 日本癌治療学会
- ☐ No.112 日本緩和医療学会
- ☐ No.41 日本気管食道科学会
- ☐ No.74 日本救急医学会
- ☐ No.46 日本胸部外科学会
- ☐ No.63 日本形成外科学会
- ☐ No.24 日本外科学会
- ☐ No.8 日本血液学会
- ☐ No.20 日本結核・非結核性抗酸菌症学会
- ☐ No.105 日本血管外科学会
- ☐ No.104 日本血栓止血学会
- ☐ No.31 日本口腔科学会
- ☐ No.98 日本高血圧学会
- ☐ No.57 日本呼吸器学会
- ☐ No.89 日本呼吸器外科学会
- ☐ No.108 日本呼吸器内視鏡学会
- ☐ No.131 日本骨粗鬆症学会

さ [設問Topへ](#) [次の設問へ](#)

- ☐ No.129 日本再生医療学会
- ☐

No.26 日本産科婦人科学会

- ☐ No.118 日本磁気共鳴医学会
- ☐ No.28 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
- ☐ No.67 日本周産期・新生児医学会
- ☐ No.93 日本集中治療医学会
- ☐ No.22 日本循環器学会
- ☐ No.70 日本消化器外科学会
- ☐ No.77 日本消化器内視鏡学会
- ☐ No.21 日本消化器病学会
- ☐ No.18 日本小児科学会
- ☐ No.65 日本小児外科学会
- ☐ No.126 日本小児血液・がん学会
- ☐ No.116 日本小児循環器学会
- ☐ No.88 日本小児神経学会
- ☐ No.133 日本女性医学学会
- ☐ No.83 日本自律神経学会
- ☐ No.53 日本神経学会
- ☐ No.68 日本人工臓器学会
- ☐ No.75 日本心身医学会
- ☐ No.58 日本腎臓学会
- ☐ No.81 日本心臓血管外科学会
- ☐ No.117 日本睡眠学会
- ☐ No.25 日本整形外科学会
- ☐ No.73 日本生殖医学会
- ☐ No.23 日本精神神経学会
- ☐ No.60 日本生体医工学会
- ☐ No.111 日本脊椎脊髄病学会
- ☐ No.61 日本先天異常学会
- ☐ No.121 日本造血・免疫細胞療法学会

た [設問Topへ](#) [次の設問へ](#)

- ☐ No.84 日本大腸肛門病学会
- ☐ No.85 日本超音波医学会
- ☐ No.110 日本手外科学会
- ☐ No.134 日本てんかん学会
- ☐ No.100 日本透析医学会
- ☐ No.51 日本糖尿病学会
- ☐ No.86 日本動脈硬化学会
- ☐ No.87 日本東洋医学会

な [設問Topへ](#) [次の設問へ](#)

- ☐ No.17 日本内科学会
- ☐ No.101 日本内視鏡外科学会
- ☐ No.16 日本内分泌学会
- ☐ No.136 日本内分泌外科学会
- ☐

No.102 日本乳癌学会

- ☐ No.124 日本認知症学会
- ☐ No.115 日本熱傷学会
- ☐ No.64 日本熱帯医学会
- ☐ No.47 日本脳神経外科学会
- ☐ No.130 日本脳神経血管内治療学会
- ☐ No.97 日本脳卒中学会

は [設問Topへ](#) [次の設問へ](#)

- ☐ No.119 日本肺癌学会
- ☐ No.35 日本ハンセン病学会
- ☐ No.30 日本泌尿器科学会
- ☐ No.29 日本皮膚科学会
- ☐ No.103 日本肥満学会
- ☐ No.123 日本病態栄養学会
- ☐ No.138 日本婦人科腫瘍学会
- ☐ No.109 日本プライマリ・ケア連合学会
- ☐ No.94 日本平滑筋学会
- ☐ No.122 日本ペインクリニック学会
- ☐ No.113 日本放射線腫瘍学会

ま [設問Topへ](#) [次の設問へ](#)

- ☐ No.45 日本麻酔科学会
- ☐ No.66 日本脈管学会

や [設問Topへ](#) [次の設問へ](#)

- ☐ No.48 日本輸血・細胞治療学会

ら [設問Topへ](#) [次の設問へ](#)

- ☐ No.59 日本リウマチ学会
- ☐ No.56 日本リハビリテーション医学会
- ☐ No.128 日本臨床栄養代謝学会
- ☐ No.71 日本臨床検査医学会
- ☐ No.99 日本臨床細胞学会
- ☐ No.107 日本臨床腫瘍学会
- ☐ No.114 日本臨床スポーツ医学会
- ☐ No.95 日本臨床薬理学会
- ☐ No.82 日本リンパ網内系学会
- ☐ No.106 日本レーザー医学会
- ☐ No.54 日本老年医学会
- ☐ No.127 日本老年精神医学会

診療科(専門領域) *

内科

- | | | | |
|---------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| <input type="radio"/> 消化器 | <input type="radio"/> 循環器 | <input type="radio"/> 呼吸器 | <input type="radio"/> 神経 |
| <input type="radio"/> 血液 | <input type="radio"/> 腎臓 | <input type="radio"/> 内分泌代謝 | <input type="radio"/> 糖尿病 |
| <input type="radio"/> 肝臓 | <input type="radio"/> アレルギー | <input type="radio"/> 感染症 | <input type="radio"/> 老年病 |

☐ リウマチ ☐ その他内科系

外科

☐ 消化器外科 ☐ 呼吸器外科 ☐ 心臓血管外科 ☐ 小児外科

☐ その他外科系

内科・外科以外の診療科

☐ 小児科 ☐ 産婦人科 ☐ 精神科 ☐ 皮膚科

☐ 眼科 ☐ 耳鼻咽喉科 ☐ 泌尿器科 ☐ 整形外科

☐ 脳神経外科 ☐ 形成外科 ☐ 救急科 ☐ 麻酔科

☐ 放射線科 ☐ リハビリテーション科 ☐ 病理 ☐ 臨床検査

☐ 総合診療 ☐ その他診療科

その他については具体的な内容を記入してください

設問1. 現在、日常診療において、特に新たな治療薬の開発が必要と思われる疾患はありますか？
(現在確立されている治療では満足していない疾患はありますか？) *

☐ ある(→各疾患の回答入力画面に移ります)

☐ ない(→回答者情報入力(任意)画面に移ります)

☐ 日本内科学会として前回調査で回答済(→回答者情報入力(任意)画面に移ります)

次へ

我が国におけるアンメットメディカルニーズに関する調査

●調査問い合わせ先

研究事務局

日本医師会 治験促進センター

担当者: アンメットメディカルニーズ調査担当

E-Mail: rinri@jmacct.med.or.jp

* は、必須項目です。

現在、日常診療において、特に新たな治療薬の開発が必要と思われる疾患(最大10疾患まで)について、各疾患につき以下の3項目にお答えください。

《疾患1》

設問2. 現在、日常診療において、特に新たな治療薬の開発が必要と思われる疾患は何でしょうか。(疾患の重篤度、治療ニーズを考慮してご回答ください) *

設問3-1. 上記設問で回答した疾患に対して、我が国の医薬品添付文書の効能・効果で認められている治療薬はありますか。
(いわゆる保険病名による適応外使用や、[55年通知](#)により保険適用されている治療薬のみの場合は「ない」を選択してください) *

- ☐ ある(→設問3-2に進んでください)
- ☐ ない(→設問4に進んでください)

設問3-2. 添付文書の効能・効果で認められている治療薬があるにもかかわらず、新たな治療薬の開発を希望する理由を選択してください(複数選択可)。

- ☐ 既存医薬品の有効性が低い
- ☐ 既存医薬品の安全性が低い
- ☐ 既存医薬品に対する患者満足度が低い
- ☐ 既存医薬品の費用が高い(患者がアクセスしにくい)
- ☐ 既存医薬品が使いにくい
- ☐ その他

その他を選択した場合は、具体的な理由を記入してください。

設問4. (上記設問で選択された疾患について)それぞれ新たな治療薬の開発が必要と思われる程度を10段階で選択してください。
(必要と思われる理由やその疾患の重篤度などに基づき、新たな治療薬の開発が緊急的に必要と思われる疾患を10、必要ないと思われる疾患を0と仮定して) *

☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8 ☐ 9 ☐ 10

設問5. 新たな治療薬の開発が必要と思われる疾患は、その他にありますか？(最大10疾患まで回答できます) *

- ☐ ある(→次の疾患の回答入力画面に移ります)
- ☐ ない(→回答者情報入力(任意)画面に移ります)

戻る

次へ

我が国におけるアンメットメディカルニーズに関する調査

●調査問い合わせ先

研究事務局

日本医師会 治験促進センター

担当者: アンメットメディカルニーズ調査担当

E-Mail: rinri@jmacct.med.or.jp

* は、必須項目です。

回答者情報(任意)

調査内容のお問い合わせについてご了承いただける方、又は、調査結果をご希望される方は以下の氏名、メールアドレスの入力をお願いいたします。

日本内科学会として前回調査時に氏名等を入力された場合も、お手数ですが可能な限り再度入力をお願いします。

氏名

姓

名

メールアドレス

(確認用:再入力してください)

戻る

確認